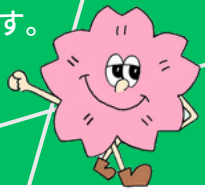


# 情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。  
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、  
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



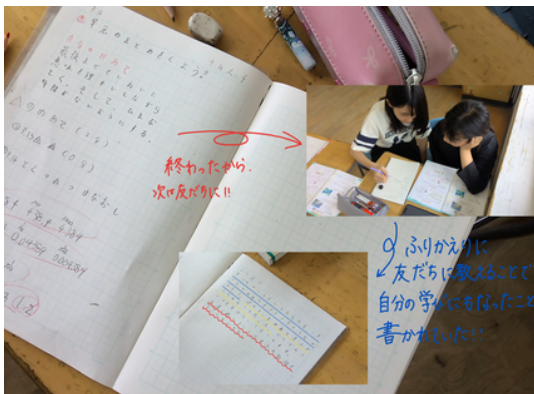
## 5年生 算数

### 授業の様子

今回の学習のめあては、「単元のまとめをしよう」でした。  
はじめに、自分のめあてを考える時間がありました。

「p.14をがんばる」といった書き方ではなく、「練習問題で8割正解する」など、具体的なめあてにすることの大切さが伝えられていました。そうすることで、振り返りの際にも自分の達成度を考えやすくなることに子どもたちは気づいていました！

また、残りの35分の使い方を自分たちで考える場面があり、自分の進み具合やめあてに合わせて学び方を調整しようとする姿が見られました。



### ふりかえり

「最後まで丁寧に意味を理解しながら解く」  
「暇な時間がないようにする」というめあてを立てて学習に取り組んでいました。

自分の課題が終わると、友だちに教えに行き、振り返りには、「友だちに教えることで自分の理解も深まった」と書かれており、学びを広げながら自分の学びにもつなげていました！！

### すてきな姿

教科書のデジタルヒントを活用しながら、困っている友だちに自分の言葉で説明している姿が見られました。

教える中で自分の理解も深まっているようで、学び合う雰囲気がとても素敵でした！！

二人の振り返りにもその様子が表れており、教えた人は「友だちに教えられた」という達成感を書き、教えてもらった側は人は「次は自分の力でやってみたい」と次への意欲を書いていました。関わりの中で、それぞれが自分の学びを見つめ、次につなげている姿がとても印象的でした。



5・6年生では、算数のデジタル教科書を児童自身も活用し、学習のヒントとして使ったり、理解を深めるために工夫したりしています！